

トマトの接ぎ木作業

実習で大玉トマトの接ぎ木苗を作りました。

接ぎ木とは、穂木（美味しいが病気に弱い）と台木（病気に強いが美味しくない）を半分に切って繋ぎ合わせることによって、美味しく病気に強い苗を作る作業です。本校では大玉トマトのほか、ナス、キュウリ、中玉トマトの接ぎ木苗を作ります。

今回、作成した接ぎ木苗のトマトは12月に定植を行い、早ければ3月末頃から収穫が始まる予定です。



[穂木 (美味しいが病気に弱い)]



[台木 (病気に強いが美味しくない)]



[接ぎ木作業 1]



[接ぎ木作業 2]



[完成した接ぎ木苗]